



由利本荘市ふるさと会

第5号

編集・発行
由利本荘市
ふるさと会

会長 保科勇記夫
080-5646-4739



QRコード

会長挨拶



由利本荘市ふるさと会会長 保科 勇記夫

盛夏の候、皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日頃より由利本荘市ふるさと会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

第8回総会・懇親交流パーティーが4月25日にアルカディア市ヶ谷にて開催され、昨年より30名も多く総勢90名の皆様にご出席頂きました。さらに27名の方が初めて参加してくださり新しい仲間が増えた事を大変嬉しく思うと共に、ふるさとを想う気持ちが着実に広がっている事を実感しました。交流会では、本市出身芸能人のオペラ・ジャズ民謡・津軽三味線などを披露して頂き大いに盛り上がりしました。物販では、地元の特産品をはじめ、鳥海山の山菜も皆さんお買い求めしておりました。来年はホテルへお願いして「山菜の天ぷらやおひたし」を出してもらえたらと思っています。これからも世代を超えて交流を深め、由利本荘市との繋がりを大切にしながら、皆様に「参加して良かった」と思ってもらえる会を目指して参ります。

また合併前からのふるさと会で現存しているのは「東由利町・鳥海町・由利中同窓会（由利町地区）」となりました。これからは解散した会に働きかけて由利本荘市ふるさと会に入ってもらい今まで以上にお声かけしていきたいと思っています。ふるさと会や高校同窓会に興味がありHPを見て入会される方もいらっしゃいます。メール・ライン・SNSなどが主流になった現代で、故郷と繋がりを持たたいという方がまだまだいる事が嬉しいです。これからも頑張ってお参りますのでどうぞ応援の程宜しくお願い申し上げます。そして皆様と一緒に楽しい会にして参りましょう。



由利本荘市ふるさと会会報発行に寄せて

由利本荘市長 湊 貴信

このたび「由利本荘市ふるさと会会報第5号」が発行されましたことを、お喜び申し上げますとともに、日頃から皆様には、ふるさと由利本荘に対しまして、多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年4月に開催された「由利本荘市ふるさと会」総会は、私にとりましても、会員の皆様と直接交流を深めることのできた大変貴重な機会となりました。郷土を思い、それぞれの地でご活躍されている皆様と和やかに語らう中で、ふるさと由利本荘に思いをはせ、応援してくださっている方々の存在の大きさを改めて実感できたことは、大変うれしく大きな励みとなりました。

また、総会の終盤には皆様とともに「ふるさと」を歌うひとときがありました。1人ひとりの思いが重なり合いやさしく、あたたかな歌声が会場いっぱいに広がったその光景は、郷土への深い愛情を感じさせるもので、今も心に残る幸福な時間となっております。

さて、由利本荘市では本年度、市の運営指針である「由利本荘市総合計画ゆりほん未来プラン」が新たにスタートしました。市民が豊かに暮らせるまちづくりを進めながら、さらに「市民1人ひとりが希望を叶え自分らしく暮らせるまち」を目指し次の世代にしっかりと「持続性のあるまち」を引き継ぐため、様々な取組みを行ってまいります。

本市を取り巻く状況としては、人口減少や少子高齢化に加え、クマの出没が頻発化するなど、安全・安心に関わる新たな課題も顕在化しておりますが、地域住民と行政が一体となり、それぞれが知恵と力を出し合いながら、着実に対応してまいります。

その中で、ふるさと会の皆様とのつながりは、本市にとって大きな力であり、遠く離れた場所から寄せていただく温かい思いや応援は、まちづくりを進めるうえで何よりの支えとなっております。今後もそれぞれのお立場から由利本荘市を見守り、応援していただけますようお願い申し上げます。

結びに、由利本荘市ふるさと会のますますのご発展と、会員皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます。



市長挨拶



議長乾杯



山菜など販売



市政20周年動画

総会・懇親交流パーティーに参加して

故郷・由利本荘市とこれからどう関わっていくか。そのヒントを探たく、春先にふるさと会のHPから懇親交流会に申し込みました。締切り後にもかかわらず、温かく迎えてくださった保科さんには心より感謝申し上げます。当日は緊張のあまりまずは喫煙所で深呼吸を・・・と立ち寄ったところ、初対面なのになぜか親近感のある方々が。思い切って声をかけると、何と父の出生地である鳥海の方々でした。その瞬間、まるで実家に帰ったような安堵感に包まれました。会場も乾杯と同時に大賑わい。鳥海の山菜を買い漁り、地酒を酌み交わし、民芸さいとうさんの品々を眺める。そこには由利本荘の温かい空気がぎゅっと濃縮されていました。

人口減少やクマ問題など地域の課題は尽きませんが、この「人が集い、笑い合う力」こそが故郷の活力になると確信しました。実は今、私は毎月帰省し、市民が世代や立場の垣根を越えて集まれる「由利本荘市民劇団」の立ち上げに奔走しています。この会でいただいた熱量を胸に、故郷の日常を彩る「新しい文化と交流の拠点」を作っていきます。

OKAMI企画 代表 真坂雅



お楽しみ抽選会で由利牛が当たりました!!

近年温暖化が進み春夏秋冬の季節がはっきりしないのが心配です。台風による水害、水不足を呼ぶ熱波・クマの問題も大変です。故郷の農家では心配な毎日とお察し致します。

私は由利中学校同窓会東京支部で30年近く参加していきまして、そのご縁で由利本荘市ふるさと会に同席させて頂いておりました。その為毎年久し振りにお会いして語り合いするのが楽しみです。今年も「お楽しみ抽選会」が始まり皆さまワクワクしながら名前を呼ばれるのを耳を傾けておりましたら「由利町の菅原ヨシ子さん、由利牛が当たりましたよ」と同時に会場から大きな拍手を頂きました時にはビックリと共に、嬉しさで恥ずかしさで舞台でどんな行動をしていたか全く覚えがありませんでした。高級な由利牛が届きまして、早速お友達を呼んですき焼きにしてみました。由利牛は本当に柔らかく美味しいと皆さんに感謝して頂きました。本当にありがとうございました。

由利町鮎川が私の故郷である母校が現在は「おもちゃ館」として残っている事を誇りにしています。皆様も地元に戻りましたら是非お立ち寄り下さい。由利本荘市ふるさと会のご発展をお祈り申し上げます。

鮎川出身 菅原ヨシ子



この度「お楽しみプレゼント」抽選会でラッキーにも由利牛が当選しました。ふるさと会会長より由利牛当選の感想を依頼されましたので、寄稿させていただきます。初めに、由利本荘市ふるさと会運営役員の方々のご尽力に感謝申し上げます。さて私は、岩城町亀田の出身でふるさと岩城会に40年前入会し会合に参加して諸先輩との交流を行ってきました。ふるさと岩城会の先輩役員の対応で8年前になるのか本荘ふるさと会に合流することになり岩城会は解散しました。その後私は、この会に参加させて頂いております。自己紹介はさておき、由利牛の話ですが、会長さんより電話で当選の由利牛を宅配便で自宅に送るとの連絡を頂きましたので家族にその事を伝えていました。普段は一緒に晩ご飯を食べない肉大好きな息子も期待してその日は一緒に肉をいただく事にしました。私自身余り肉は好んで食べない方ですが、食べるのはほとんど豚肉で子供の頃は牛肉なんて食べたことなかったと思います。今回届いた肉の量は思っていた程ではなかったですが、私も2切れ食べました。柔らかく癖がなく美味しく感じました。家族にも確認したら、美味しかったよ、柔らかくて脂がしつこくなくてとの事でした。秋田の鳥海山の麓、由利高原という自然豊かで水・草の綺麗な環境で育った牛だからこそ、美味しい肉質になるのでしょう。

機会があれば友達、知り合いに伝えてみようかと思います。ともあれ、美味しい由利牛をありがとうございました。

岩城町出身 湯田昭二

ふるさとへの想い



旧本荘市和泉町出身の大日向です。由利本荘市には高校卒業までの18年間過ごし、大学入学から50年間は県外で生活して現在に至っております。1年に数回の帰省と、現役時代にT社及び関係企業との商談で訪問したり、年に1/3近く海外出張していた事もありました。由利本荘は日本海が近く、子吉川が近く、鳥海山が近くに見える自然に恵まれた土地です。現在の住まいは神奈川県平塚市で、相模湾の海岸、相模川が近く富士山が見え、住環境が由利本荘に似ていて過ごしやすい土地です。子供が小さい時は、富士山を鳥海山と勘違いし、故郷の祖父・祖母が近所に住んでいると思いつきに会いに行こうと言っていました。また、今も山菜や新米で季節の訪れをふるさと納税で感じています。

1年に数回の帰省で閉店となるお店、市中の人影減少が目につくようになってきていますが、地域の文化・産業振興等で活気が戻る事を期待しています。

大日向陽一 和泉町出身

2025年11月15日 アートホテル日暮里 ラングラウド 2F 鷹鷹の間
由利中同窓会東京支部

ふるさと鳥海の家



ふるさとへの想い

石沢地区は旧本荘市の東南。子吉川と石沢川の合流地点、南が前郷、東は東由利に接している。その頃は大家族で、私の家も生まれた頃は祖父家族が4人（別に嫁いだ叔母が1人）、父家族が7人（早世した姉が2人）、めらしが2人、わがざが1人併せて14人家族である。それが今実家にいるのは兄夫婦だけで、跡継ぎを予定していた甥は姓を変え結婚して市内に住む。その子は女子2人で、農業をやるような話は聞かない。大きな家ががら空きである。実家の隣は墓地で寂しい事限りない。数年前母も105歳で他界し実家に帰るきっかけが滅った。義姉も足腰が弱り迷惑を考えると勇んで帰る気になれない。何だか愚痴のような話を並べてしまったがこれが故郷の現実である。そんな中で昔の事を語れるふるさと会は有難い。語っていると「ふるさと」の世界が眼前に思い浮かべられるからである。



鈴木（畠山）幸三 石沢出身



私にとっての「ふるさと」は、中学・高校時代を過ごした由利本荘市である。生まれ故郷ではないが、母の実家があり、今も多くの親類が暮らす大切な場所だ。多感な時期を過ごしたこの街の景色は雄大な鳥海山や冬の厳しさ人々の温かさとともに、私の原風景として静かに息づいている。高校時代には地吹雪の中をバイクで走り、まつげを凍らせながら配達のアパートに助んだ。貯めたお金でギターを手に入れ、仲間とバンド組み商工会館で開いたコンサートは今も心に残る宝物だ。長い年月を経た今もこの地を訪れ親類の笑顔に触れると、心が静かに和らいでいく。血のつながりと青春の記憶が息づく由利本荘市は、いつでも私をそっと包み込み、明日へ向かう力を与えてくれるかけがえのない拠り所である。

片平行英 水林出身



奇遇と構造の発見・HPが繋いだ郷里の絆

ふるさと会のHPを拝見して問い合わせた際、保科会長から直接お電話頂き、折よく1週間後に迫った「東京東由利会」に参加致しました。当初は知らない顔が多いのではと案じていましたが、郷里を出た「次男」世代という、70年代の若者が上京する社会背景、構造に気付かされ即座に合点がきました。初対面なはずの先輩方も、互いの実家を紐解くと濃密なマジックが始まるのでした。中学時代、剣道部へ稽古にいられていた長沼市議や、実家から僅か50MのJA佐藤理事と「佐藤豊店の外孫」「老方クラブの投手、やっさんの長男」という強力なタグを共有した瞬間、会場の空気が一変しました。佐藤幹事長とは初対面でしたが、そのルーツを伺うと実家のお母様、お兄様、ご家族の面影が次々と脳裏に浮かびこれぞ郷里の皆兄弟効果。同席だった母の同級生とも再会劇を仲介できました。東京では見知らぬ同士。それが郷里に残り家を継いだ「長男」達の文脈を介して、一瞬で血の通った縁に還る。ふるさと会全体に通底するこの構造と力強さに深く感謝する、夢のような1日でした。



ゆりぼん娘

小野敦弘 東由利出身

ボウリング大会に参加して

令和8年7月4日、品川プリンスホテルボウリング場にて「由利本荘市ふるさと会・葛巻ふるさと会ボウリング懇親会」が開催され参加させて頂きました。由利本荘7名、葛巻8名による親善交流戦で和やかですが、随所に真剣勝負ならではの熱気が感じられました私は金浦町出身ですが参加のきっかけは、昨年11月に開催された「にかほ市ふるさと会」で保科会長と出会い、それからいろいろな行事にお声掛けを賜り、4月のふるさと会にも参加、ボウリング大会は今回が2回目です。

当初は初対面の方も多く緊張しておりましたが、競技が始まると自然と打ち解け、ストライクやスベアが決まる度に完成と拍手そしてハイタッチが交われ、会場は終始暖かな一体感に包まれておりました。私の成績は1G123点、2G122点、合計245点で第8位団体戦は由利本荘チームが勝利しました。微力ながら由利本荘市ふるさと会の一員として貢献できました事を嬉しく感じています。終了後は新橋の昭和情緒漂う「簗」で懇親会が催されました。皆様による歌や、故郷ゆかりの酒肴も用意され、和やかな語らいの中郷土への想いを改めて深く共有するひとときとなりました。故郷を離れてなお、同郷の方々々と心を通わせ、懐かしい話題に花を咲かせる時間は何ものにも代え難い貴重な経験です。改めて人々のご縁、そしてふるさとを



想う心の尊さを実感した誠に有意義な1日となりました。

左は毎年6月第1土曜日に開催される浅草での竿燈祭りです動画をYouTubeに公開していますのでご覧ください。

ビル街の竿燈も素晴らしいですよ。



細田知美
金浦町出身



国会見学ツアーに参加して～大人の遠足～

私にかほ市象潟町出身ですが、本荘高校東京同窓会の保科会長よりお声掛けいただき、参加させていただきました。

いつも少し遠くから見ていた国会に初めて入りました。昭和11年にできた建物との事ですが、使われている材質が優れている事ドアノブ、館内の郵便投函筒はアメリカ製、スタンドグラスはイギリス製、その他は全て日本製で、大理石がふんだんに使われていると想いましたら、帰宅してから「日本の石材博物館」とも言われている事を知りました。エレベーター内部の装飾には三種の神器が象られていました。維持のために相当の手入れがされている事も想像され、年数に比べて古さは感じませんでした。

初めに村岡衆議院議員の議員室を訪問し、その後、秘書の方より館内を案内頂き、予算会場、国会議場、天皇陛下の御休所等々最後に正面まで行き、中央玄関前で記念集合写真を撮りました。館内のあちこちにエレベーターがあり、上がったたり下がったり曲がっては進んだり気がつけば結構な距離を歩いていました。

最期は議員会館の食堂で村岡議員も一緒に食事をしましたが、その前に、偶然に玉木代表と写真を撮る機会がありました。

楽しく貴重な大人の遠足となりました。

梶原ひろみ

象潟町出身





千葉県から由利本荘市へ戻りました

本荘南中学校、本荘高校卒の佐藤清を申します。昨年末に大学時代も含めると49年ぶりに実家に戻り、父が4年前に亡くなってから1人暮らしをしている母との生活を始めました。今まで年に数回帰省はしていましたが、生活をするとなると勝手が違うもので、戸惑うこともありました。周りの方達は今年の冬は雪が少なくなくて良いよ、とおっしゃっていましたが、私にとって不慣れな雪掻きは大変な作業でした。

また、仕事を探すのも67歳という年齢がネックで、なかなか決まらず苦勞しました。5通目の履歴書でやっと4月に今の職場とご縁がありました。新しい職場の方達との出会いを大切にしながら仕事に励もうと想っています。毎日運転しながらの仕事なのですがどこを走っていても当たり前のように鳥海山が視界に入ってくることが、凄く新鮮で感動しています。高校生の時はあまり身近過ぎてこんな事は思わなかったのですが、改めて鳥海山は形が良くて綺麗な山だなあと思いました。再発見です。

これから先もこのふるさとでいろいろな発見や感動があり、出会いがあり再会もあるんだろうなあと楽しみにしているところです。

佐藤清 由利本荘市井戸尻在住



小説にしたい故郷の素敵な先人

2027年のNHK大河ドラマは松坂桃李主演「逆賊の幕臣」。主人公は小栗忠順。その小栗と9ヶ月におよぶ世界一週の旅をしたのが矢島の三浦東蔵。万延元年遣米使節団77人の侍の一人です。ところがこの東蔵、もともと侍ではありません。ペリー艦隊を追い払おうと得意の数学と土木測量を活かして品川砲台（お台場）を造りに行ったのです。それなのに敵国のアメリカに渡り、おまけに日本初の世界一周までしてしまう。いったい東蔵に何があったのでしょうか？

私は秋田の素敵な先人を小説にする作家です。東蔵が品川砲台完成後も矢島に戻らなかったのはなぜか、誰が遣米使節団に推薦したのか、そして予想もしない最期はなぜ訪れたのか、さまざまな謎に書き手の想像力が掻き立てられます。他にも大内の新撰組阿部十郎、本荘の軍事探偵・小松秀夫、矢島の喜劇王・映画監督斎藤寅次郎などなど故郷には素敵な先人が沢山います。

さて、拙書「吹雪の彼方」が第1回「本の甲子園」秋田県代表作品に選ばれました。併録は亀田の豪族・天鷲速男が子吉川を挟んで坂上田村麻呂と戦う物語「天鷲に舞う」です。この機会にご一読いただけたら幸いです。

作家

左は昨年、本荘高校東京同窓会で講演した時の写真です。

小笠原晃紀
旧大内町出身



ふるさとへの想い



もう早いものでふるさと由利本荘市西日役町を離れてから約60年!! 決して早くなくゆっくりゆっくりなはずだったのに年令から感じる年のとる早さ、頭も体もそれなりに年相応になりました。今から数年前まではひとりで由利本荘市へ帰ることが楽しみで仕方なかったのに、今の私は誰かと一緒じゃないとふるさとへも帰れません。足腰は達者なのですが頭がちょっと危ないです。でも足腰が丈夫ならまだまだふるさとへ行ってせめてお墓参りくらいはしたいです。年令を増すごとにふるさとが懐かしく思い出します。目的があればいつでも体が続く限り行きたい我がふるさと由利本荘へ。好きです本荘高校、我が母校!!

西日役町出身 小池保子



国会見学の感想 当会幹事 柴田健蔵（岩城町出身）

先日国会議事堂見学会は、地元選出の村岡敏英衆議院議員事務所を訪問して有意義な時間を過ごすことができました。企画して頂いた保科会長には厚くお礼申し上げます。藤井秘書様の案内では堂内部建物は御影石の大理石に圧倒され、各所英国製のステンドグラスが配置され、大正時代建設当時の日本の隆盛期を確認できました。サプライズで玉木代表にも



面会で、代表は香川県選出で讃岐国は生駒氏が領していましたが、生駒騒動で1640年に生駒高俊は矢島に転封された歴史の「縁」でもあり話ができた。同行した渡邊聡さんは同じ東大卒で数値論の話題で盛り上がっていました。村岡先生に応援する陳述書を手渡し、先生のご健勝と益々のご活躍を祈念して議事堂をあとにした。



本荘高校東京同窓会



東京東由利会



矢島高校拓道同窓会



由利高校東京支部会

来年の日程

「由利本荘市ふるさと会総会&山菜祭り」
令和9年4月25日（日） 11:30～
会場：アルカディア市ヶ谷
お待ちしておりますよ
民芸さいとう⇒



お悔やみ

本荘ふるさと会時代から現在まで役員として活躍されました諏訪ひなさんが5月14日に逝去されました。享年77歳4月のふるさと会ではお元気にされていましたのでとても残念です。心よりご冥福をお祈り申し上げますと共に今までの貢献に深く感謝御礼申し上げます。



編集後記

会報第5号が発行されてホッとしています。会報と言えるには物足りないかも知れませんが、総会の楽しい雰囲気は伝えられたらと思います。HPもご覧下さい。保科